

# みなみかぜ

No. 581 2024.8.1

編集 黒石・厚南・西宇部人権学習会  
みなみかぜの集い

発行 宇部市隣保館厚南会館

(第42回(令和5年度)全国中学生人権作文コンテスト山口県大会 優秀賞受賞)

## 女子教育の必要性について

宇部市立厚南中学校 3年 佐野友理菜

ある一つのCMに衝撃を受けました。私と同じくらいの年齢の女の子が綺麗な民族衣装を身にまとい、笑っていました。そして彼女はI am a child, I have a child. と言いました。彼女は妊娠、出産し、自分の赤ちゃんを抱っこしていました。まだ幼い彼女が赤ちゃんを抱っこしている姿はとても親子のようには見えず、何とも言えない違和感を覚えました。

国の慣習や文化により彼女のように若くして結婚を強制される「児童婚」は受けるべき教育を受けられない要因の一つとなっています。このことをきっかけに私は現在の女子教育に関心をもつようになりました。調べてみると世界には学校に通うことのできない女の子が約1億人いると分かり、驚きました。私は小中学校と当たり前のように学校に通い、今まで勉強してきました。そのことを何の疑問も持たず当然のことと思っていました。

しかし世界には女の子であるが故に学校に通えず、教育を受けられない国や地域が存在することを知りました。この傾向は先進国に比べ、発展途上の国々に顕著に見られます。男性より体力が劣るなどの考え方が昔から残っているため、彼女のような女の子が今だに存在するのです。なぜ女の子だけがそんな目にあわないといけなののでしょうか。生まれた場所や地域がそうだったというだけで、言われるがままに結婚、出産をせざるを得なかったと思うと言葉になりません。

もし、CMで見た女の子が日本で生まれていたとしたらどうなっていたのでしょうか。普通に学校に通って勉強し、友達と沢山の思い出をつくり、多くのことを学んだ後、将来の夢を抱き、その夢に向かって努力したことでしょう。生まれた国や地域によってこのような教育格差が生まれることは絶対にあってはならないことだと思いました。

正直、私は勉強が嫌いです。なぜしなくてはいけないのか、と思うことすらあります。しかし彼女たちの現状を知るといかに自分達が恵まれた環境で教育を受けられているのかを痛感させられます。

教育を受けていない女の子の将来はどうなるのでしょうか？読み書きや計算ができないということは仕事を選べなくなります。そして必要な知識が得られないので社会から取り残される可能性が高くなります。また妊娠、出産に関しての知識を持たないということは非常に危険であり、実際、妊娠や出産の合併症により命を落としている女性が

12年以上教育を受けた女性よりも死亡する可能性が2倍高いというデータがあります。ただでさえ出産は女性にとってまさに命懸けです。何の知識もない状態での出産はあまりにも無防備で危険だということを知らずに彼女たちは立ち向かっているのです。

他にも「貧困」や「環境」などが女子教育の妨げとなっている要因となっています。小さな女の子が家族のために遠く離れた場所まで水くみに何度も通い、また食費を稼ぐために悪臭やガラスなどの破片が落ちている悪環境の中から少しでも売れそうなものを捜し、それを売る毎日を過ごしています。そんなギリギリの状態の中、生きることだけに必死なのです。

そんな様々な要因を抱えながらも女子教育の必要性を訴え、立ち上がった女の子が2014年にノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイさんです。パキスタン出身である彼女もまた教育を受けたくても受けられなかった女の子の一人でした。彼女は「女子も教育を受けるべき」と声をあげました。しかしその後彼女は銃撃され、生死をさまよいながらも奇跡的に回復しました。そしてそんな恐ろしい目にあった後も精力的に活動し、世界中の女の子たちに教育の機会を与えるためのサポートをする「マララ募金」を創設するなどの活動を今も続けています。当然の権利を力や暴力で抑えつけ、恐怖で縛りつける行為はあってはならないことです。彼女の行動が世界中の人々に勇気を与えたことは間違いありません。命を懸けた彼女の勇気ある行動はこれからも様々な要因で教育を受けることのできない女の子たちの希望の光となるでしょう。

私は今中学3年生で高校受験という岐路に立っています。選択肢が多くある中で、それがかえって迷うこともあるけれど、これからの自分の人生であり、進むべき道を今考えているところです。自分は将来どういった職業に就きたいのか、そのためにはどういう方向へ進めばよいのか考える力を持つことができたのは、やはり小中学校の中で学び、時には悩み、そして壁にぶつかっても諦めずにやりぬく力をつけたからだと思います。

今現在、女子教育の環境は少しずつ改善されつつも、世界の全ての女の子が教育を受けているとはまだまだ言えません。I can study every day. I am happy. と世界中の子どもたちが言える日がくることを願います。

【学校・学年は、令和5年度における学校・学年です。】

**【巡回職業相談 ～就職活動に関する個別相談～】** 〈申込要、無料〉

- 日時 令和6年8月20日(火) 15:00~16:30 《相談可能時間》
- 会場 隣保館厚南会館
- 申込 ☎31-0164 部門コード 44# ハローワーク宇部 専門援助部門  
※申込〆切 8月14日(水)

**【みなみかぜの集い ～黒石・厚南・西宇部人権学習会～】** 〈申込不要、無料〉

- 日時 令和6年8月28日(水) 18:30~20:10 ※手話通訳者が付きます。
- 会場 隣保館厚南会館 2階 大会議室
- 内容 講演 障害者差別解消法について  
講師 宇部フロンティア大学短期大学部 副学長 近藤 鉄 浩